

ADVAS-PT1 ファームウェア更新手順書

動作環境

ファームウェア更新は以下の環境で可能です。

オペレーティングシステム

Microsoft Windows XP 日本語版 (全ての32ビットエディション)
Microsoft Windows Vista 日本語版 (全ての32ビットエディション)
Microsoft Windows 7 日本語版 (全ての32ビットエディション)

ハードウェア

シリアルポート(RS-232C)を搭載した IBM PC/AT互換機
※USB-シリアル変換アダプタの利用も可能
※その他のハードウェア環境は各OSの必要条件に準拠

1. ファームウェア更新に際しての注意

- ファームウェアの更新は、手順を誤ったり、更新中に機器の電源を遮断したりすると、機器そのものを壊してしまう場合があります。本手順書をお読みの上、慎重に実施ください。また、お願いいたします。ファームウェアの更新失敗による機器の故障時は、保証期間中でも有償修理対応となりますので、十分ご注意ください。
- ファームウェア更新作業に不安がある場合は、ご購入の販売店もしくは弊社までご相談ください。

2. ファームウェア更新の準備

- 弊社のWebサイトより、最新のファームウェア更新用ファイルをダウンロードします。ZIP形式で圧縮されており、更新用の実行アプリケーション(EXEファイル)、ファームウェアのバイナリーファイル(BINファイル)、更新用の構成設定ファイル(iniファイル)で構成されます。
- 更新作業を実施する前に、ZIPファイルを解凍します。解凍先は任意の場所で問題ありませんが、解凍済みのファイルは、全て同一のフォルダ階層上にセットで配置するようにします。

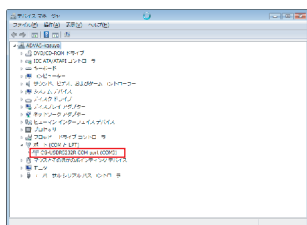
3. 機器の接続

制御PCとの接続(シリアル接続)

- ADVAS-PT1と制御PCを、RS232Cクロスケーブルで接続します。ケーブルは、別途ご用意ください。両端がD-SUB 9PINメスのコネクタを持ったRS232Cクロスケーブルがご利用いただけます。ご利用のPCにシリアルポート(RS232C)がない場合は、別途市販のUSB-シリアル変換アダプタ等をご用意ください。



- [コントロールパネル]→[デバイスマネージャ]を開き、制御PCのCOMポート番号を確認します。複数のCOMポートがある場合は、全てのポート番号を控えてください。下の画面は、COMポートが一つで、ポート番号が3の例です。

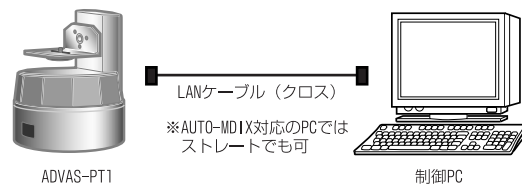


制御PCとの接続(LAN接続)

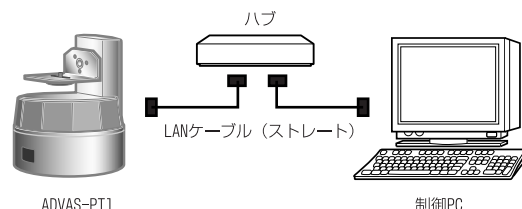
- ADVAS-PT1と制御PCを、CAT5以上のLANケーブルで接続します。一般的に、直結の場合はクロスケーブル、間にハブを介する場合はストレートケーブルが必要になりますが、AUTO-MDIX(自動判別機能)に対応したLANポートを持つPCを使用する場合は、ストレートケーブルで直結させることも可能です。ここ数年に発売されたほとんどのPCは、AUTO-MDIXに対応しています。ケーブルは別途ご用意ください。

⚠注意

- LAN接続の場合は、制御PCとPT1以外の機器を、同じLANに接続しないようにお願いします。

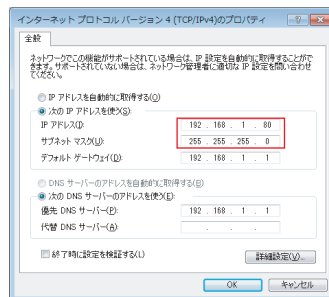


制御PCと直結の場合



ハブを介した接続の場合

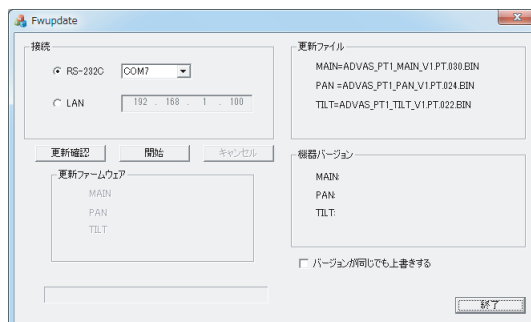
- ADVAS-PT1の工場出荷時の初期IPアドレスは、"192.168.1.100"です。制御PCを、同じネットワークアドレス(192.168.1/24)のIPアドレスに設定する必要があります。
- 制御PCのコントロールパネルから、TCP/IPのプロパティを開き、IPアドレスの設定を行います。設定の詳細はご使用のPCもしくはOSの取扱説明書をご参照ください。下の画面は、IPアドレス"192.168.1.80"、サブネットマスク"255.255.255.0"に設定した例です。



4. ファームウェアの更新

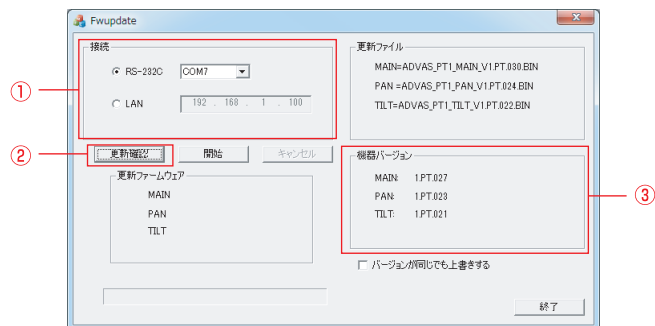
更新用アプリケーションの起動

- 解凍済みのファイルの中の、FwupdatePT.exeを、実行します。以下の画面が表示されます。(以降に掲載される操作画面のファイル名やバージョン番号は参考例で、実際に表示されるものとは異なります。)

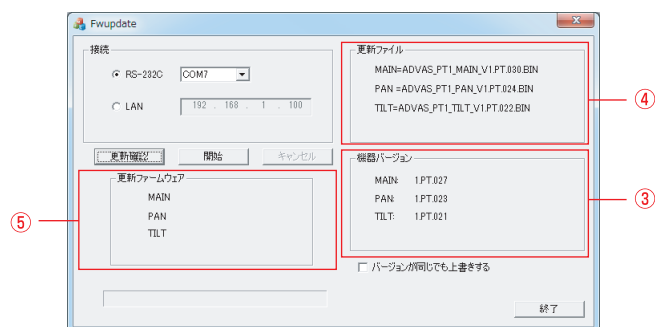


ファームウェア更新の確認

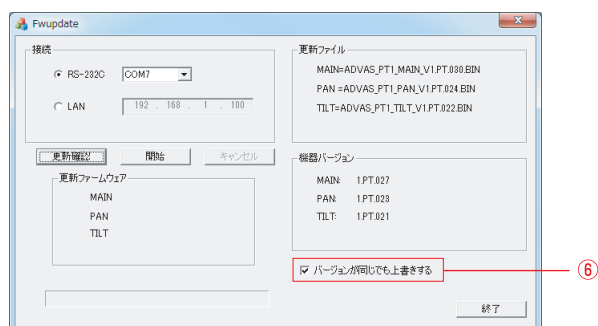
- 更新を実施する前に、機器接続と、ファームウェア更新の必要性を確認するために、更新確認を実施します。
- 通信方法を選択し、RS-232Cの場合はADVAS-PT1が接続されているPCのCOMポート番号を、LANの場合はADVAS-PT1のIPアドレスを設定します。(①)
- 更新確認ボタン(②)を押して、ADVAS-PT1との通信を確認します。正常に通信できる場合は、“機器バージョン”表示エリア(③)に、現在のADVAS-PT1のファームウェアのバージョンが表示されます。更新確認ボタンを押すと、“通信ポートのオープンに失敗しました”のメッセージが表示される場合は、COMポート番号がIPアドレスが間違っている可能性があります。各機器の設定やケーブルに間違いがないか、確認をしてください。



- ADVAS-PT1には、“MAIN”、“PAN”、“TILT”用の3種類のファームウェアがあります。更新に使用されるファームウェアのバージョンは、“更新ファイル”表示エリア(④)に表示されます。“機器バージョン”表示エリア(③)に表示される、現在のADVAS-PT1のファームウェアのバージョンと比較し、更新が行われるファームウェアの種類を、“更新ファームウェア”表示エリア(⑤)に黒字で示します。文字が灰色になっているファームウェアは、既に最新バージョンが適用されているため更新の必要がなく、書き換えは行われません。

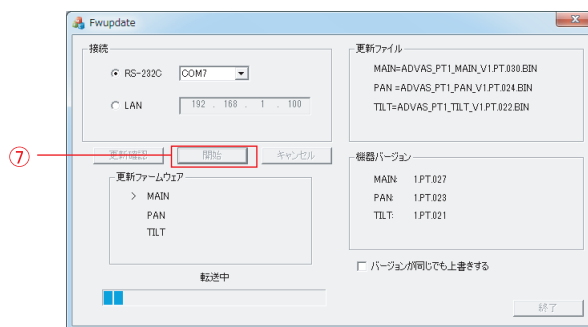


- 更新の必要がないファイルも含めて、全てのファームウェアを更新する場合は、“バージョンが同じでも上書きする”のチェックボックス(⑥)にチェックを入れます。



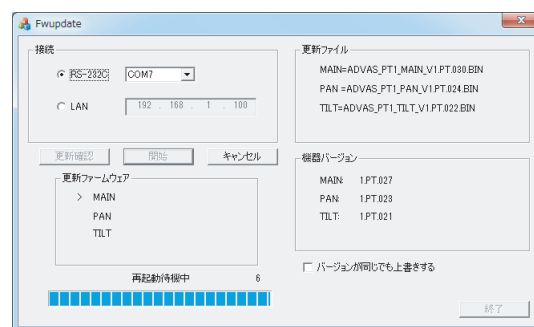
ファームウェア更新の実行

- 開始ボタン(⑦)を押すと、“更新を開始します”のダイアログが表示され、“OK”ボタンを押すとファームウェアの更新が実行されます。“キャンセル”を押すと、更新をキャンセルできます。

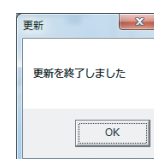


注意

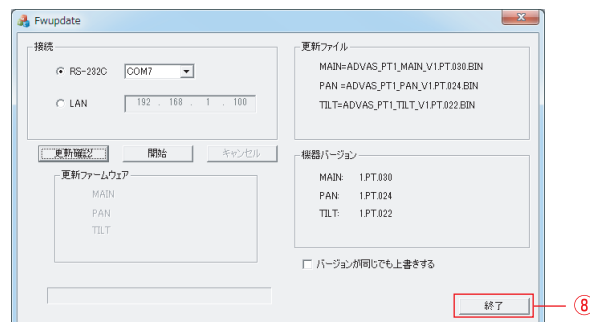
- ファームウェアの更新中は、絶対に機器（ADVAS-PT1本体やハブ、制御PCなど）の電源を切らないように注意してください。更新中に電源を切った場合、ADVAS-PT1が故障する場合があります。
- ファームウェアの更新は、MAIN→PAN→TILTの順番に実行されます。各ファームウェアの書き込み後は、ADVAS-PT1自身の再起動が入ります。再起動待機中は、“キャンセル”ボタンが有効になり、更新作業を中断することができます。転送中もしくは書き込み中は、“キャンセル”ボタンは押せなくなり、作業を中断することはできません。



- 全てのファームウェアの更新が完了すると、“更新を終了しました”のメッセージが表示されます。



- 更新が完了したら、終了ボタン(⑧)を押して、Fwupdate.exeを終了します。



- 最後に、ADVAS-PT1の電源を再投入します。以上で、ファームウェアの更新作業は完了です。ファームウェアの更新が正しく行われたか確認する場合は、再度FwupdatePT.exeを起動して、“更新確認”ボタンを押して“機器バージョン”表示エリアのバージョン表示を確認します。